宗像市は今年で10周年

広報むなかた

むなかたタウンプレス

毎月 1日・15日 発行

平成25年12月15日号

今月の紙面から

ドクターらく朝の一笑健康 ヘルシートーク＆健康落語 2
市子ども相談センターの愛称が「ハッピークローバー」に決まりました 4
職場体験で、また一つ成長「ワクワクWORK」 12
市の新しいビジョンをみんなでつくろう、「宗像力プロジェクト」 2
世界遺産国際専門家会議、「ふるさとから世界遺産を！」 5
今に残る歴史的町並み「赤間宿跡」、「時間旅行ムナカタ」 6
一人一人が幸せな社会を築くために、「メッセージ」 8
劇場型勧誘の新たな手口に注意！、「転ばぬ先の杖」 10
健診を受けていますか？、「健康むなかた21」 11

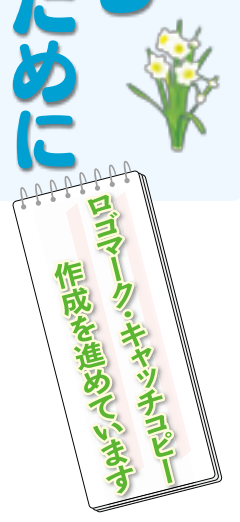
初詣の後は海の道むなかた館へ行こう！（6ページ）

宗像市公式ホームページアドレス
http://www.city.munakata.lg.jp/
宗像市公式フェイスブック
https://www.facebook.com/munakata.city
メールアドレス
koho@city.munakata.fukuoka.jp

発行：宗像市
〒811-3492 福岡県宗像市東郷1-1-1
代表：総務課
☎0940-36-1121 FAX 0940-37-1242
編集：秘書政策課広報・報道担当
☎0940-36-1055 FAX 0940-37-1242

1～3	4～6	7	6・8～10	11	12
行政	学びの里	カレンダー	お知らせ	健康・福祉	子どもの未来

宗像市・都市ブランド 子育て世代に選ばれるまちとなるために



市では、「子育て世代に選ばれる都市イメージ」の確立を目指しています。

宗像市には、子育て・教育環境の良さや、海や山などの豊かな自然に恵まれながらも、住宅都市として発展してきた魅力があると考えています。こうした魅力をイメージできる、あるいは、目指していきたい未来のまちの姿がイメージできる、ロゴマークとキャッチコピーを作るため準備を進めています。

9月から10月までロゴマークとキャッチコピーを募集した結果、全国からロゴマーク328点、キャッチコピー414点もの応募がありました。たくさんの応募、ありがとうございました。

このロゴマークとキャッチコピーを、3段階で選考します（**左図参照**）。

最終的に選ばれたロゴマークとキャッチコピーは、市の印刷物やホームページなどで活用する予定です。また、市民のみなさんにも使用してもらいたいと考えています。

「子育て世代に選ばれるまち」のシンボルとして、どのようなロゴマークやキャッチコピーがふさわしいと思いますか？ ロゴマークとキャッチコピーは、現在、専門家や市民からなる選考委員会による第1次選考中で、市広報紙1月1日号と同時に配布する予定のチラシや宗像市都市ブランドHP http://munakata-brand.com/で確認できるよう、準備しています。投票方法についてはあらためて、市広報紙1月1日号でお知らせします。

■問い合わせ先
秘書政策課
広報・報道担当
☎（36）1055

ロゴマークとキャッチコピーの選考方法は？

第1次 選考委員会による選考 → 第2次 市民のみなさんによる投票 → 第3次 選考委員会による決定

選考委員会で、それぞれ絞り込んだロゴマークとキャッチコピーを、市民のみなさんによる投票で、さらに絞り込み、最終的に選考委員会で決定します。

ワークショップで宗像市を語る！

【「むなかた子育て未来会議」を開催しました】

8月から9月まで、3回にわたって「むなかた子育て未来会議」と題したワークショップを開催しました。

ワークショップの1回目は、市内で子育てをしているママやパパたち。2回目は、市内で子どもの育ちに関わる活動をしている人たち。3回目は東京で、宗像にゆかりのある人たちに集まってもらい、宗像市での子育てや暮らしについて、それぞれの立場から、思いや意見が出され、子育てや未来について、たくさんの気づきが得られる機会となりました。その一部を紹介します。

普段の思いを文字に

●宗像の子育てにいいところ

▽海も山もあり、自然の中で子育てできる▽子育てサークルがたくさん▽幼稚園、保育園の選択肢が多い▽小中一貫教育に取り組んでいる

●宗像がもっとこうなればいいね

▽地域で頼り合い、支え合える子育てをしたい▽小倉、博多も通勤圏内だから、終業時間プラス1時間の預かりサービスや、駅前送迎サービスがあればいい▽3大学2高校は宗像市の強み。大いに活用して、子どもが体験できる場を増やしたい

●ワークショップに参加した感想

▽自分のまちのいいところをたくさん見つけられました▽このネットワークを生かして主体的に何かできたらいいなと思える、すてきな人脈ができました▽参加したことで、子育てや宗像に住むことに前向きになれました

これらの意見は、市都市ブランドHP http://munakata-brand.com/に掲載し、ロゴマークやキャッチコピーを応募するときの参考にしてもらいました。応募してもらった人の中には、「宗像市に住んで3年になりますが、デザインを考えるためにあらためて宗像市のことを調べ、あらためて宗像市のことが好きになりました」というううれしい声もありました。

時に笑顔、時に真剣に意見交換

「子育て世代に選ばれる都市イメージ」の確立への取り組みは、ロゴマークとキャッチコピーが完成したら終わりではなく、これからが本番です。この投票を機に、「住みたい」「住み続けたい」と思うまちについて、みんなで一緒に考えていきましょう。

たにい ブログ・フォト日記

チャリティー寄金をありがとうございます。相撲で、宗像市をさらに元気にしてください

広報紙15日号で毎月、市HP http://www.city.munakata.lg.jp/に掲載している市長ブログを紹介しています。

■問い合わせ先
秘書政策課秘書担当
☎(36)0890

元大関・武双山の藤島親方が11月6日、チャリティー寄金のため訪問に来てくれました。

武蔵川親方（元横綱・三重ノ海）が光岡に相撲部屋を開設して9年。その後、藤島親方が武蔵川部屋を引き継いで4年。今日まで、毎年チャリティーイベントの収益を、市に寄付していただいています。

藤島親方とは、武蔵川部屋時代からのお付き合いで親しくしています。

現在、藤島部屋では関取（十両以上）が翔天狼（しょうてんろう）1人。少し寂しいので、有望な若者を大いに鍛えてくださいと激励しました。

市民のみなさんも応援をお願いします。

広報・報道担当では、常用漢字と新聞用字用語集を基本に、市独自の用字用語を定めて編集しています。
電話＝☎、ファックス＝FAX、メール＝メール、ホームページ＝HP、フェイスブック＝FBとして表記しています。また、市民のみなさんの居住地は、コミュニティ地区名で表記しています。